

美術館

vol.146

だより

Houki Museum Information

異国にて 植田正治と海外

11月30日(月)まで開催中

二度のヨーロッパ旅行での作品をまとめた『植田正治小旅行写真帖 音のない記憶』は、1974年に出版されています。1972年、植田は初めての海外旅行に挑み夢中でシャッターを切ったといいます。今回の展覧会では、この〈音のない記憶〉のシリーズをはじめ、植田が海外で撮影した多彩な作品を紹介します。

山陰にこだわり続けた写真家として知られる植田が、1970年代から80年代にかけてヨーロッパ、アメリカ、中国など、遠く離れた異国の地をたびたび訪れ、撮影を行っています。依頼によるものもあったとは思いますが、これらの経験は、それまでの山陰での撮影とは全く違う感覚を写真家にもたらしたといえます。時にはノスタルジックに、また時には好奇心旺盛にシャッターを切る写真家のまなざしが強く感じられる意欲的な作品ばかりです。常に新たな挑戦を試みた植田の写真家としての姿勢も感じていただけることでしょう。



中国 1980-82年

あわせて、今回の展示では、植田の作品がどのように海外で注目されたかを振り返ります。1950年代から、書籍、雑誌、展覧会などを通じて植田正治の作品はたびたび海外で紹介されてきました。1954年の書籍への採録をはじめ、その後、日本の写真家を紹介する展覧会に繰り返しセレクトされ、海外でのフォト・フェスティバルにも招待されています。また、1980年代以降は、海外で個展が開催され、雑誌などでも単独での特集が組まれています。どのような作品がどのように紹介されたかを辿りながら、植田の作品が海外でいかに評価されてきたかを改めて概観します。山陰にこだわり、アマチュア精神を抱き続けた作家が、異国の地で普遍的な魅力を放ち続けてきた背景、理由をご理解いただけることでしょう。

同時開催《1階D展示室》

植田正治物語 — 写真するボク —

コレクション紹介展示として、植田正治の生涯にわたる写真活動の軌跡を紹介しています。

問い合わせ先

伯耆町立植田正治写真美術館

TEL:0859-39-8000

メール ■ bijyutsukan@houki-town.jp

ホームページ ■ <https://www.houki-town.jp/ueda/>

◆ 開館時間 / 10:00~17:00 (最終入館は16:30)

◆ 休館日 / 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)

※ 8月11日は開館

町民無料招待券

(本券を切り取ってご利用ください)

見本

伯耆町立植田正治写真美術館

伯耆町須村353-3 TEL:0859-39-8000